



泥だらけの鉄の馬は、最速を求め続ける。

全日本モトクロス選手権シリーズ 第9戦九州大会



All Japan Motocross Championship Rd.9



雨のレースだった。全日本モトクロス選手権シリーズ第9戦九州大会は、11月5日、6日の両日、ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州（HSR九州）で開催された。昨年は口蹄疫の影響で中止、今年は開幕戦としての開催予定だったが、東日本大震災の影響で延期となり、第9戦として開催された。約1年半振りの開催となる選手権。全日本のライダーたちが土砂降りの中、感動のドラマを見せてくれた。

震災以降、練習したくても、走ることができない中、開幕戦は延期された。震災後、福岡や熊本などのレースに関わる人たちが、「チーム九州」として、集めた支援物資を岩手県藤沢町現一関市に運んだ。全国各地で連戦する中でレースを通じたつながりが生まれていた。

地元翔陽高校出身の福留善秀選手は、地元のレースでヒート1、2ともに2位を勝ち取り表彰台に上がった。バイクメーカーのワークスチームも減少し、厳しい状況の中、ライダーは最速を目指す。雨の中、泥にまみれ、転倒しても起き上がり、走り続けるライダーの姿に、その決意が見られた。



1 IA1クラスで総合優勝した成田亮選手。圧倒的な強さでシリーズチャンピオンを決めた／2レディースクラスで優勝した延永若菜選手と抱き合い自分のことのように喜ぶ畑尾樹璃選手（荒尾市）／3テーブルトップからの最終コーナー／4雨でぬかるんだ路面がライダーに絡みつく／5スタートを静かに待つバイク／6緊張を振り払うかのように笑い、スタートに備える／7地元熊本で総合2位を勝ち取った福留善秀選手。表彰台から投げた帽子に多くのファンが集まる／8今レースを彩ったキャンペーンガール



ふくとめよしひで
福留善秀選手

熊本県熊本市生まれ
翔陽高校出身で最高峰の
IA1クラスに出場中

2年ぶりの地元レースで結果を出すことができうれしかったです。開幕戦は、HSR九州で走ってシーズンに勢いをつけたいと思っていました。でも、延期になっても開催できたことに感謝しています。なかなか成績が残せなくて、辛い時期が続いていましたが、地元のレースなので HONDA の支援もあり、最後まで頑張ることができました。来年も頑張りますので、ぜひレースに来てください。これからも応援よろしくお願いします。